

9月23日は、 「手話言語の国際デー」です (International Day of Sign Languages)



「手話言語の国際デー (International Day of Sign Languages)」は、2017年12月19日に国連総会で決議されました。
決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるように国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進することとされています。

世界ろう連盟では、「手話言語の国際デー」に合わせて、「手話言語にブルーライトを当てよう」イベントが企画されました。

それに合わせて、全日本ろうあ連盟でも「世界そして日本を青色に！いのちの輝き 手話言語に光を」チャレンジプロジェクトとして、市民、地域、社会が一つになって「手話が言語である」ことへの認知を広めるため、青色にライトアップすることを呼びかけ、多くのランドマークや公共施設が青色にライトアップされました。

(青色は世界ろう連盟や国連のロゴの色を示しており、平和を表しています。)



昨年の加東市の
ライトアップ

そこで！



9月23日(祝)に、加東市と共にブルーライトアップをしていただける、個人、事業所、企業、学校等を募集いたします！
一緒に加東市をブルーのライトで染めましょう！！
*協力者、団体等については、ケーブルテレビ等でPRいたします。



申込みフォーム

申込締切
8月18日

【問い合わせ・お申込み】

加東市健康福祉部社会福祉課《担当：山田・藤原》
TEL/43-0070 FAX/42-6862

令和4年度の地域の取り組み(抜粋)



アジュール舞子／明石海峡大橋



三木市役所



西脇市市民交流施設



ひまわりの丘公園



人と防災未来センター



モザイク大観覧車



龍野城隅櫓



丹波篠山市立田園交響ホール



岡田金属工業所正面時計台(三木市)

☆ライトアップされた写真や動画をソーシャルメディアに公開します。
ハッシュタグに「#IDSL」「#BluLight」「#手話言語に光を」をつけて、
「@jfd.or.jp」、「@Wfdeaf」をタグ付けしてソーシャルメディアへの公開をお願いしています。